

中国労組への檄

長野労働金庫労働組合
青年部執行委員 矢島 由貴

1. 安定雇用の実現

安定雇用の実現は速やかに実現させ安心して働く事ができる環境の構築を昨年同様早期に勝ち取らなければならないと認識しております。長野労組においても中国労金同様、非正規の職員がいなければ業務遂行が成し遂げられない現状の中一日も早く「雇用不安」を解消するという考え方に共感できます。

組合員全員が契約・嘱託職員のために闘うことはまさに労働者自主福祉運動であり、同じ職場で働く仲間の為に闘うことは組合運動を活発化させるだけでなく職場の連帯感を強めます。また、風通しの良い職場にもつながり、ワークルールの徹底にも大きな役割を果たすことでしょう。身近な仲間の為に闘うことは、仲間の輪ひろげることになり地域との連帯・連携を強め大きな力になります。

2. 基本賃金について

連合方針でもある「底上げ・底支え」「格差是正」の観点についても重要であると認識しております。現在、長野労金での職場実態をみても必要不可欠な存在になっており中国労組においても同様な気持ちである事に共感します。

3. 年間一時金について

2014春季生活闘争においてR・ONE移行への奮闘がポイントになると考えています。この間営業店試験、打鍵訓練、移行直前・直後対応と全員が奮闘してきました。金庫経営が厳しいのは理解しておりますが、長野労組同様に中国労組もR・ONE移行・安定稼働に対する奮闘を考慮している点に強く共感します。